

施策番号	224	施策名	商工業の振興	主管課名	産業観光課
総合計画 体系	政策名	2	地域経済を支える里づくり	令和 2 年度課長名	小椋 正己
	関係課名	まちづくり課		シート作成者	大山 博聖

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内の商工業者	→	ア	鏡野町商工会会員数	企業	見込値 実績値			310 326	330	330
						299	309			
イ 町民	→	イ	町民人口	人	見込値 実績値			12,143 12,625	11,970	11,800
						12,926	12,754			
ウ	→	ウ			見込値 実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 販売、出荷を増やしてもらう	→	ア	工業事業所出荷額	億円	目標値 実績値 達成率	200	200	200	250	250
						269	249	249		
						134.5%	124.5%	124.5%	99.6%	99.6%
イ 法人町民税を多く納めてもらう	→	イ	法人町民税額	千円	目標値 実績値 達成率	200,000	200,000	200,000	100,000	110,000
						171,231	98,329	132,976		
						85.6%	49.2%	66.5%	133.0%	120.9%
ウ 法人町民税を多く納めてもらう	→	ウ	鏡野町商工会会員数	企業	目標値 実績値 達成率	295	300	310	330	330
						299	309	326		
						101.4%	103.0%	105.2%	98.8%	98.8%
エ 町内で便利に買い物をしてもらう	→	エ	町内での買い物が便利だと感じている町民の割合	%	目標値 実績値 達成率	68.0	69.0	70.0	62.0	62.5
						59.6	61.4	67.2		
						87.6%	89.0%	96.0%	108.4%	107.5%
⑤ 成果指標 設定の考え方	町内の商工業者及び売上高、雇用の確保を把握するには、統計による調査数値を参考とする。施策に意図に応じた指標として工業事業所出荷額、法人住民税額、住民実施のアンケート調査報告による数値を利用する。			⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	ア: 工業統計調査 イ: 住民税務課資料 ウ: 鏡野町商工会資料 エ: 町民アンケート調査結果 (対象者1,000人中481人が回答)					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担	町民の購買意欲などニーズを的確に把握し、それらに対応した市場の把握や品揃えやが重要である。そのためには、鏡野町商工会が中心となり企業と商工会の連携強化が必要である。また、町民においても町内で出来る限り買い物をするという気持ちが大切である。	鏡野町商工会と連携を取りながら、企業の誘致や新しい産業の創出に努める。近年企業誘致が成功し、徐々にではあるが町民の雇用の場が確保されつつある中、通販型の企業については一部町外へ工場を移転したが、町内での事業拡大等による雇用の創出を働きかける。新規創業者への支援策はもとより、事業継承を行う事業者への支援策についても制度の拡充を図る。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度 の 評価結果	① 成果指標の時系列比較 (成果は向上したか? 低下したか? 要因は?) 統計調査において町内の店舗数は年々減少している傾向は続いているものの、商工会において商工会活性化委員会を設け、商工業の振興を図り、組織の強化に努めており、商工会会員数は増加している。ただし大型スーパー及び通販業者の業績により、販売額全体は横ばいを維持しているが中小小売業者は厳しい状況であると推察される。法人税額は大手1社の影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?) 製造品出荷額について同規模の自治体と比較すると、和気町(354億円)、奈義町(313億円)、美咲町(325億円)となっている。 <input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?) 数年前より上齋原地域から鏡野地域まで週2回のバスを運行しており、大型スーパー等への利用に対し非常に好評である。令和2年度実施の『鏡野町プレミアム付商品券』は町民には好評であり、引き続き実施要望が大きい。新規創業者支援制度により創業者は増加しているが、個人事業主が多く直接雇用の創出にはつなげていない。また、創業者支援制度において事業継承を行う事業者への支援を対象としている。新型コロナウイルス感染症に係る経済対策は、引き続き実施の要望が寄せられている。 <input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度	
■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る経済対策として、『鏡野町プレミアム付商品券』の発行をはじめ、国の持続化給付金の上乗せ及び単独補助、特別利子補給制度の創設などを行った。プレミアム付商品券の発行は商工会と連携を図りながら実施し、対象人数の75%の方が購入するなど多くの方が利用された。また、持続化給付金では、個人及び法人を含め334件の申請があり、町内事業者の事業継続に繋がったものと思われる。創業者支援制度においては、事業継承を行う事業者も対象とするなど制度の拡充を図った。 <input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下	
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向 (うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?)	
・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費が急激に落ち込み日本のみならず全世界において景気が後退している状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策を引き続き実施し、事業継続が可能な施策を講ずる。・事業所における感染症対策については、今後も引き続き実施する必要がある。令和3年度において感染症対策にかかる施策を進めていく。 ・起業支援補助金のPRを行いながら商工業の振興を図る。また、「鏡野町小規模企業・中小企業の振興に関する基本条例」に基づき、制度を有効に利用しながら小規模事業者の支援等、地域商工業者を支える事業に取組む。	